

【ハウスミカン】

1) 現状

(1) 生育適応性

- 県内のうんしゅうみかん栽培地帯で可能であるが、加温のための経費を考慮すると温暖な場所を選ぶ必要がある。
- 強風によりハウスが倒壊する恐れがあるために、風当たりの少ない地形を選ぶ。
- 隣接地に十分な水源を確保する。

年平均気温	冬季極温	土壌条件	高品質生産条件	晩霜	初霜
—	県内では問題なし	排水良好な砂壤土	秋～冬季の多日照 平坦地又は緩傾斜地	—	—

(2) 現在の主要作型

早生うんしゅう（早期加温栽培 11月20日加温開始、夏枝母枝）

月	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
旬	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
作型										

△加温開始、○開花期、収穫期

(3) 加温時期と重油等の消費量

作型	加温期間	必要重油量
11月20日加温開始	加温開始日11月20日～4月末	約23k l
12月10日加温開始	加温開始日12月10日～4月末	約20k l
12月30日加温開始	加温開始日12月30日～4月末	約17k l

※必要重油量は高松西部支部温室ミカン部会での聞き取り調査

(4) 経営費等に占める重油費の割合(重油単価80円/lの場合)

温室みかん：宮川早生：施設：11/20加温タイプ

経営費目	金額(円)	備考
種苗費等諸材料費	660,000	
光熱動力費	2,200,000	うち重油代1,840,000円
出荷経費等	251,000	
経営費合計	3,111,000	経営費のうち 重油費割合：59%

施設償却は終了しているため見込んでいない。

(5) 重油高騰の収益への影響(H20試算)

上記(4)の経営費において、光熱費及び諸材料費が重油と同様に上昇することを想定して試算。

重油単価 (円/ℓ)	重油代金 (円/10a)	経費全体 (円/10a)	収 益 (円/10a)
50	1,150,000	2,679,000	721,000
60	1,380,000	2,909,000	491,000
70	1,610,000	3,139,000	261,000
80	1,840,000	3,369,000	31,000
90	2,070,000	3,599,000	-199,000
100	2,300,000	3,829,000	-429,000
110	2,530,000	4,059,000	-659,000
120	2,760,000	4,289,000	-889,000

2) 対策

(1) 施設の改善

加温機の点検整備や施設の内張り等の多層被覆については、共通技術を参照する。

(2) 適正な温度管理

県栽培指導指針に記載された温度管理を参考に、無理な加温、極端な昇温を行わない。

(3) 作型の検討

基本的にうんしゅうみかんの加温栽培は、厳冬期に最低温度を20度以上に保つエネルギー消費型の作型であり、重油価格の上昇への対応は容易ではない。

香川県のハウスみかんは樹齢が進み、果実生産力が低下してきている樹体も多いことから、「不知火」や「せとか」等中晩柑の無加温ハウス栽培への転換も視野に入れたい。

エネルギー資源高騰が恒常化しても耐えうる栽培品目の見直しや労力配分の適正化など、経営全体の再構築が求められる。